

2019年12月期 第2四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned above the letter 'G'.

AGC株式会社

2019年7月30日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2019年12月期 第2四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.16
■ 2019年 通期業績の見通し	P.27
付属資料	P.34

2019年12月期 第2四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

売上高 **7,375億円** 前年同期比 80 億円(1.1%)の減収

営業利益 **415億円** 同 188 億円(31.2%)の減益

- **バイオ医薬品やディスプレイ用特殊ガラスの出荷増、新規連結などにより増収も、ユーロ安、東南アジアにおける苛性ソーダや液晶用ガラス基板の価格下落、自動車用ガラスの出荷減により減収**
- **液晶用ガラス基板の販売価格下落や新規設備立ち上げ、自動車用ガラス、化学品の製造原価悪化により減益**

連結純損益計算書

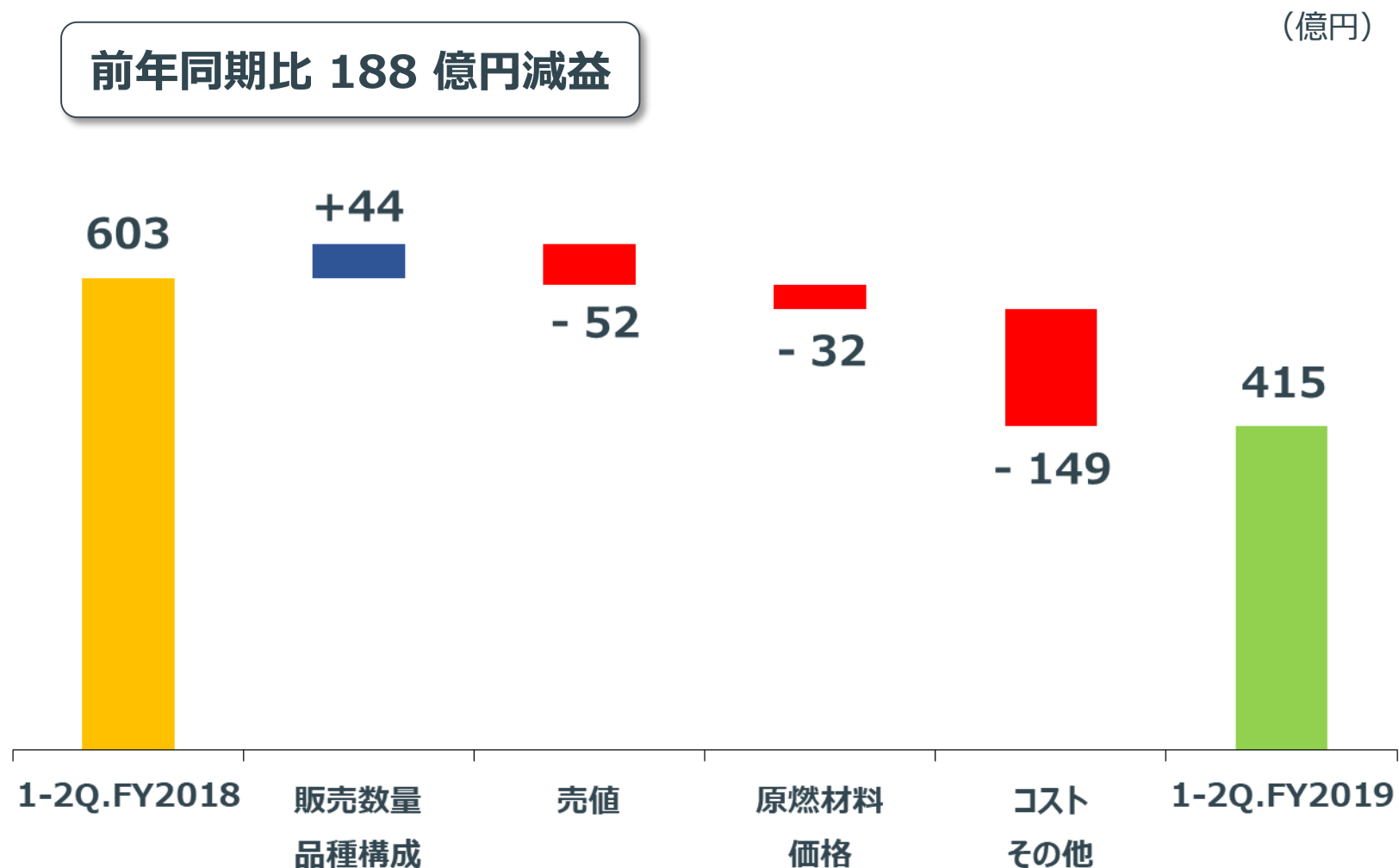
	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	3,730	3,759	+ 28 *	7,455	7,375	▲ 80 *	
営業利益	297	206	▲ 90	603	415	▲ 188	
その他収支	▲ 11	▲ 22		34	6		
事業利益	285	184	▲ 101	637	421	▲ 215	
金融収支	19	7		13	4		
税引前利益	305	191	▲ 114	649	426	▲ 224	
法人所得税費用	▲ 47	▲ 7		▲ 118	▲ 62		
四半期純利益	258	183	▲ 75	531	363	▲ 168	
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	233	167	▲ 66	481	323	▲ 158	
非支配持分に 帰属する四半期純利益	25	17		50	40		
為替レート (期中平均)	JPY/USD	109.07	109.90	108.69	110.05		
	JPY/EUR	130.06	123.49	131.64	124.32		
原油	\$/BBL (Dubai)	72.1	67.4	68.0	65.4		

* うち、為替差影響は、2Q 売上高▲53億円、1-2Q累計売上高▲106億円

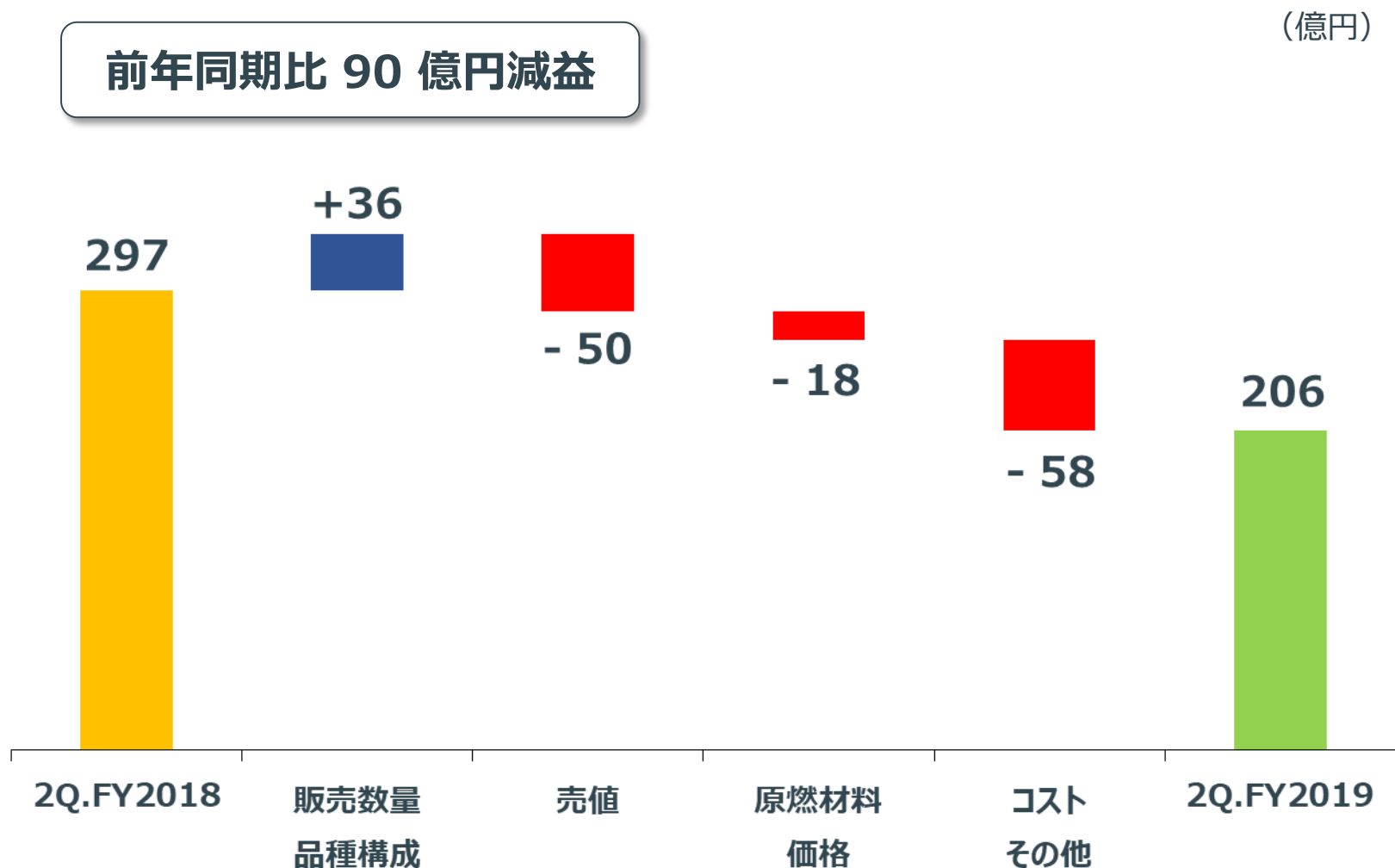
セグメント別業績 前年同期比較

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	3,730	3,759	+ 28	7,455	7,375	▲ 80	
ガラス	1,934	1,890	▲ 44	3,877	3,752	▲ 125	
電子	603	652	+ 48	1,163	1,246	+ 83	
化学品	1,150	1,158	+ 9	2,297	2,285	▲ 12	
セラミックス・その他	215	218	+ 4	398	404	+ 6	
消去	▲ 172	▲ 160	+ 11	▲ 280	▲ 312	▲ 32	
営業利益	297	206	▲ 90	603	415	▲ 188	
ガラス	78	39	▲ 39	155	74	▲ 82	
電子	41	35	▲ 6	98	60	▲ 38	
化学品	167	118	▲ 49	337	262	▲ 75	
セラミックス・その他	11	15	+ 4	13	20	+ 7	
消去	▲ 0	0	+ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 0	

営業利益増減要因分析(1-2Q.FY2018 vs. 1-2Q.FY2019)



営業利益増減要因分析(2Q.FY2018 vs. 2Q.FY2019)



セグメント別業績 前四半期比較

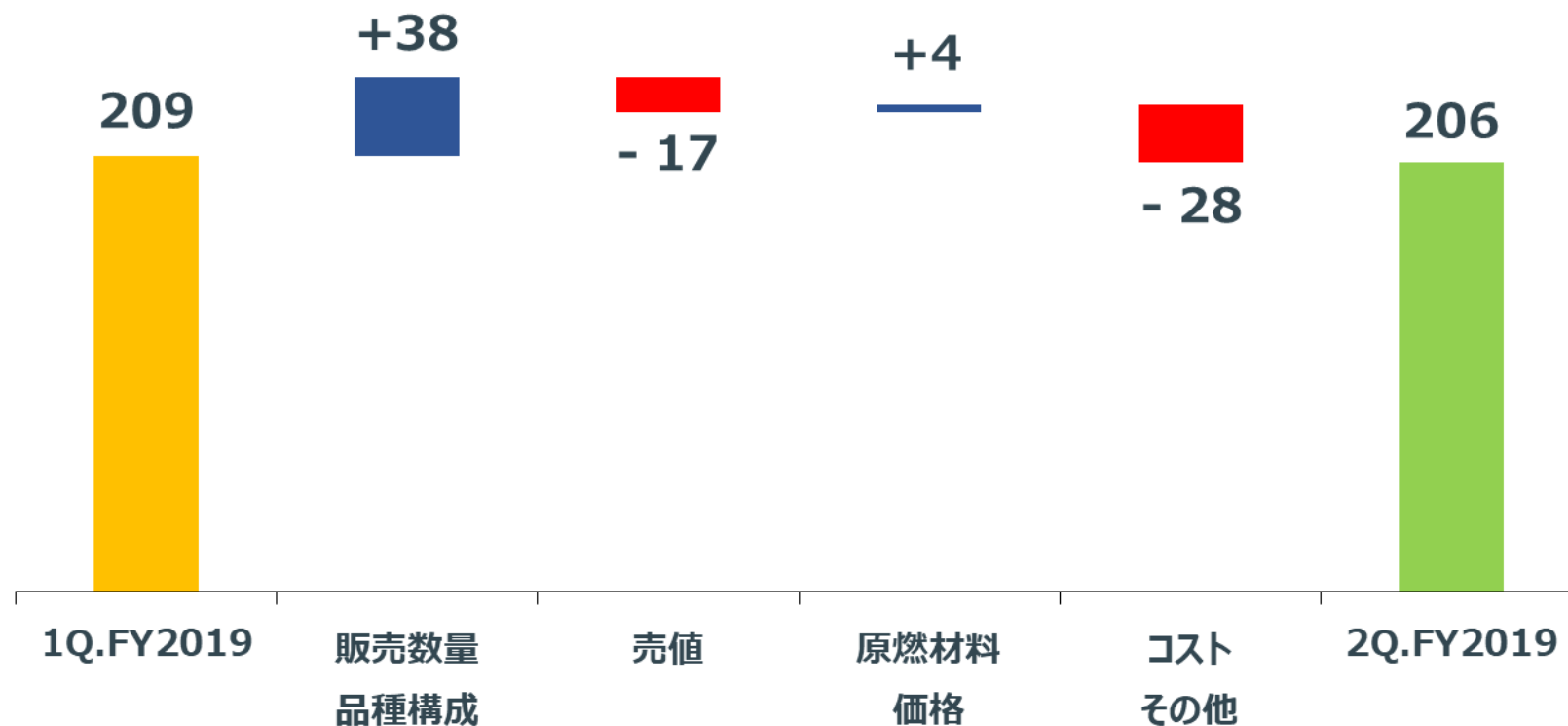
(億円)

	1Q.FY2019	2Q.FY2019	増減	増減%
売上高	3,616	3,759	+ 143	+3.9%
ガラス	1,861	1,890	+ 29	+1.6%
電子	594	652	+ 57	+9.7%
化学品	1,127	1,158	+ 31	+2.8%
セラミックス・その他	185	218	+ 33	
消去	▲ 152	▲ 160	▲ 8	
営業利益	209	206	▲ 3	▲1.2%
ガラス	35	39	+ 4	+11.0%
電子	25	35	+ 10	+41.1%
化学品	144	118	▲ 26	▲18.4%
セラミックス・その他	6	15	+ 9	
消去	▲ 1	0	+ 1	

営業利益増減要因分析(1Q.FY2019 vs. 2Q.FY2019)

前四半期比 3 億円減益

(億円)



	(億円)			
	2018/12	2019/6	増減	
現金及び現金同等物	1,235	1,253	+ 18	
棚卸資産	2,770	2,905	+ 135	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	12,547	13,313	+ 766	← ・IFRS16号適用による使 用権資産の期首影響 + 389億円 ・為替差影響 ▲249
その他	5,806	5,678	▲ 128	
資産合計	22,358	23,150	+ 792	← ・為替差影響 ▲369
有利子負債	5,418	6,193	+ 776	←
その他	4,404	4,394	▲ 10	
負債の部	9,822	10,587	+ 766	← ・IFRS16号適用による リース負債の期首影響 + 392億円
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,372	11,395	+ 23	
非支配持分	1,164	1,167	+ 3	
資本の部	12,536	12,562	+ 26	
負債及び資本合計	22,358	23,150	+ 792	
D/E比率	0.43	0.49		

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)			
	2Q		1-2Q累計	
	FY2018	FY2019	FY2018	FY2019
税引前利益	305	191	649	426
減価償却費及び償却費	307	359	610	695
運転資金増減	▲ 33	▲ 41	▲ 174	▲ 183
その他	▲ 171	▲ 47	▲ 280	83
営業活動によるCF	407	462	804	1,020
投資活動によるCF	▲ 434	▲ 733	▲ 783	▲ 1,212
フリーキャッシュフロー	▲ 27	▲ 271	21	▲ 191
有利子負債増減	▲ 31	181	209	394
支払配当	-	-	▲ 124	▲ 133
その他	▲ 33	▲ 19	▲ 11	▲ 26
財務活動によるCF	▲ 64	162	74	235
現金等に係る換算差額	▲ 14	▲ 33	▲ 60	▲ 25
現金等の増加額	▲ 105	▲ 142	35	18

	2Q		1-2Q累計 (億円)	
	FY2018	FY2019	FY2018	FY2019
設備投資額	683	585	1,179	1,011
減価償却費	307	359	610	695
研究開発費	112	118	217	229

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1-2Q.FY2019	7,375	3,752	1,246	2,285
前年同期比	▲ 80	▲ 125	+ 83	▲ 12

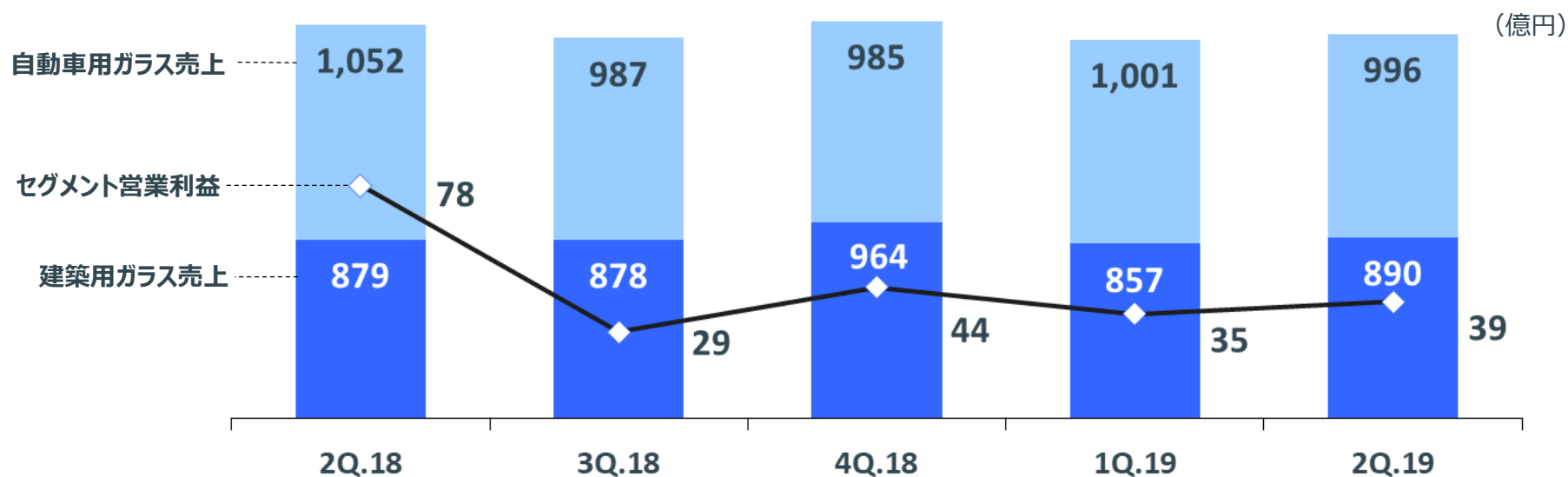
[以下影響を除く前期比]	▲ 58	▲ 17	+ 25	▲ 43
為替換算の影響	▲ 106	▲ 109	+ 2	+ 4
連結範囲変更の影響	+ 83	-	+ 56	+ 27

*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しません

2. セグメント別・地域別の状況

ガラス セグメント (1)

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	1,934	1,890	▲ 44	3,877	3,752	▲ 125	
建築用ガラス	879	890	+ 11	1,746	1,747	+ 0	
自動車用ガラス	1,052	996	▲ 57	2,125	1,997	▲ 128	
(セグメント間)	3	5		6	9		
営業利益	78	39	▲ 39	155	74	▲ 82	



【前年累計比】

〔売上高〕 減収

建築用ガラス

- 日本、欧米の出荷は堅調なものの、ユーロ安の影響で前年同期並み

自動車用ガラス

- 日本、ロシアを除く地域での出荷減、ユーロ安の影響で減収

〔営業利益〕 減益

建築用ガラス

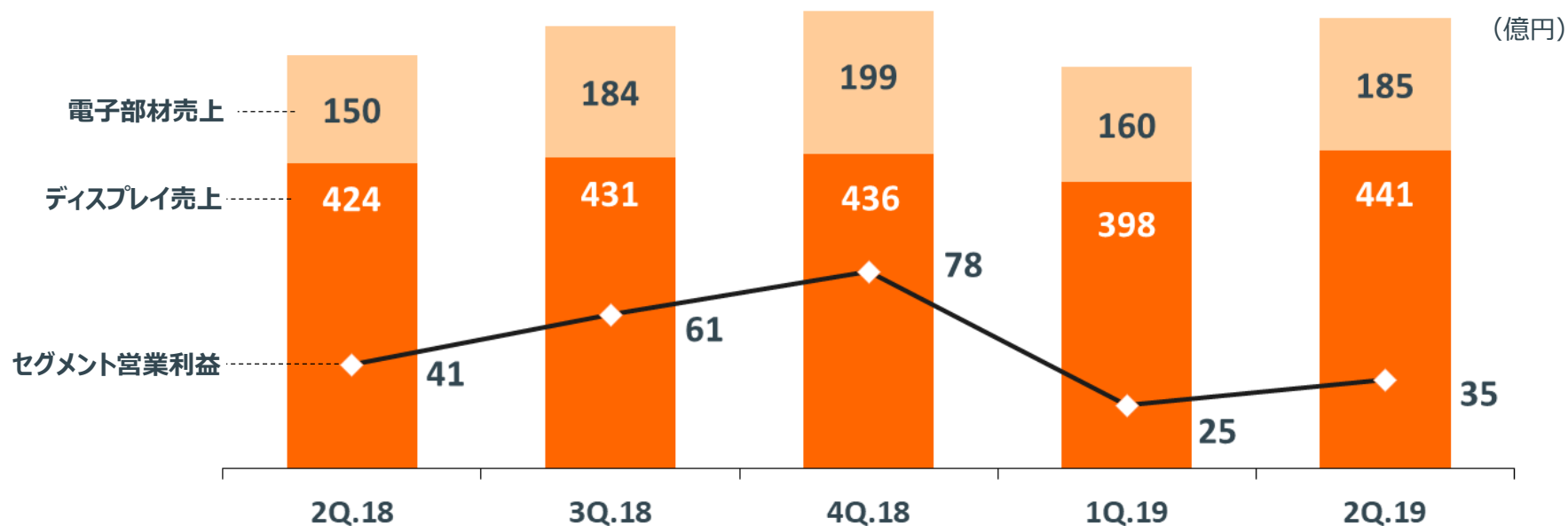
- 日本や欧州での出荷堅調に加え、販売価格改善により増益

自動車用ガラス

- 日本における生産効率悪化によりコスト高
- 19年1Qに日本の素板生産設備の修繕を実施し製造原価上昇

電子 セグメント (1)

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	603	652	+ 48	1,163	1,246	+ 83	
ディスプレイ	424	441	+ 17	843	838	▲ 4	
電子部材	150	185	+ 35	286	345	+ 60	
(セグメント間)	29	26		35	62		
営業利益	41	35	▲ 6	98	60	▲ 38	



【前年累計比】

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷数量は前年同期比で増加、販売価格は下落幅縮小
- ディ스플레이用特殊ガラスはDragontrail®が出荷好調

電子部材

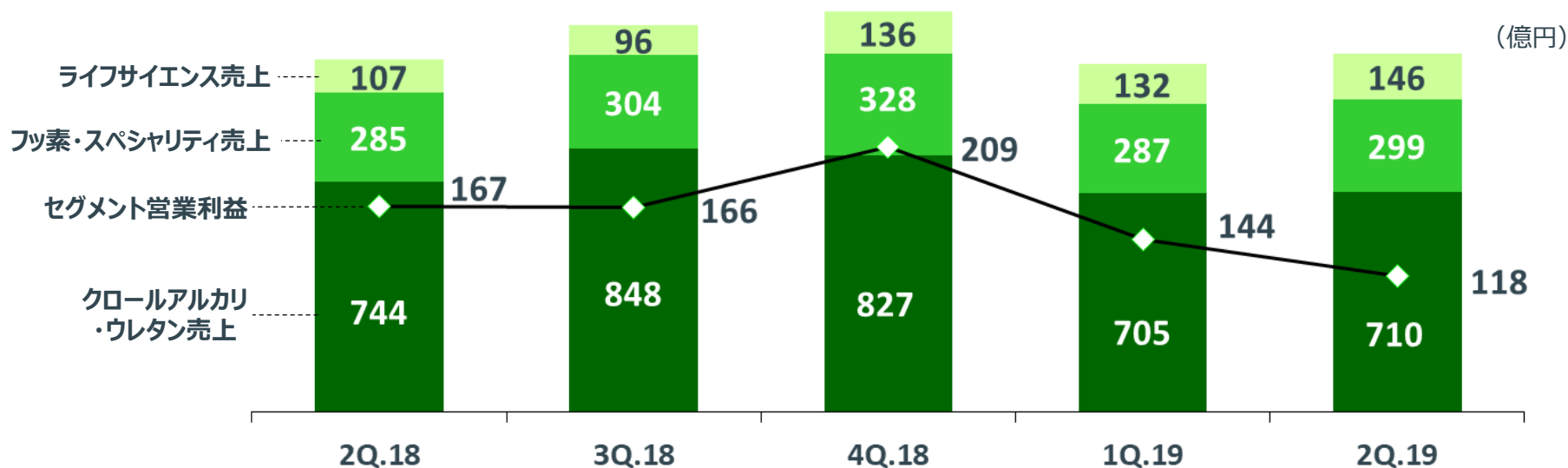
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷は減少したものの、半導体関連製品の出荷は増加
- 1Qよりパーク・エレクトロケミカル社 エレクトロニクス事業が業績寄与

〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板の販売価格下落
- 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げに伴う減価償却費が増加

化学品 セグメント (1)

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	1,150	1,158	+ 9	2,297	2,285	▲ 12	
クローラルカリ・ウレタン	744	710	▲ 34	1,491	1,415	▲ 76	
フッ素・スペシャリティ	285	299	+ 14	572	586	+ 14	
ライフサイエンス	107	146	+ 39	218	278	+ 60	
(セグメント間)	13	4		16	7		
営業利益	167	118	▲ 49	337	262	▲ 75	



【前年累計比】

〔売上高〕 減収

クローラルカリ・ウレタン

- 東南アジアでの苛性ソーダ販売価格が下落

フッ素・スペシャリティ

- 半導体関連製品の需要減の影響があったものの、ヨウ素製品等の販売堅調により増収

ライフサイエンス

- バイオ医薬品原薬の受託件数が増加
- 1Qよりマルグラット・ファーマ・ケミカルズ社が業績寄与

〔営業利益〕 減益

- 東南アジアでの苛性ソーダの販売価格が下落
- 日本における定期大規模修繕や電力コストの上昇などの製造原価悪化

地域別業績 前年同期比較

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	3,730	3,759	+ 28	7,455	7,375	▲ 80	
日本・アジア	2,391	2,433	+ 42	4,794	4,775	▲ 20	
アメリカ	414	443	+ 29	836	871	+ 35	
ヨーロッパ	925	882	▲ 43	1,824	1,729	▲ 95	
営業利益	297	206	▲ 90	603	415	▲ 188	
日本・アジア	320	234	▲ 85	648	475	▲ 173	
アメリカ	17	16	▲ 1	33	37	+ 5	
ヨーロッパ	57	57	+ 0	102	99	▲ 3	
地域共通費用	▲ 97	▲ 102	▲ 4	▲ 179	▲ 196	▲ 17	

地域別業績 前四半期比較

	1Q.FY2019	2Q.FY2019	増減	増減%
				(億円)
売上高	3,616	3,759	+ 143	+3.9%
日本・アジア	2,341	2,433	+ 92	+3.9%
アメリカ	428	443	+ 15	+3.4%
ヨーロッパ	847	882	+ 36	+4.2%
営業利益	209	206	▲ 3	▲1.2%
日本・アジア	240	234	▲ 6	▲2.4%
アメリカ	21	16	▲ 5	▲24.9%
ヨーロッパ	41	57	+ 16	+38.4%
地域共通費用	▲ 94	▲ 102	▲ 7	-

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1-2Q.FY2019	577	229	941	-	1,747
		1-2Q.FY2018	545	229	972	-	1,746
	自動車ガラス	1-2Q.FY2019	1,039	362	596	-	1,997
		1-2Q.FY2018	1,050	381	694	-	2,125
		1-2Q.FY2019	1,616	590	1,537	9	3,752
		1-2Q.FY2018	1,595	610	1,666	6	3,877
電子		1-2Q.FY2019	1,095	85	4	62	1,246
	1-2Q.FY2018	1,067	62	-	35	1,163	
化学品		1-2Q.FY2019	1,894	197	188	7	2,285
	1-2Q.FY2018	1,958	165	158	16	2,297	
セラミックス・その他		1-2Q.FY2019	169	-	-	235	404
	1-2Q.FY2018	174	-	-	224	398	
消去		1-2Q.FY2019	-	-	-	▲ 312	▲ 312
	1-2Q.FY2018	-	-	-	▲ 280	▲ 280	
合計		1-2Q.FY2019	4,775	871	1,729	-	7,375
	1-2Q.FY2018	4,794	836	1,824	-	7,455	

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	2Q.FY2019	293	117	479	-	890
		2Q.FY2018	269	117	493	-	879
	自動車ガラス	2Q.FY2019	511	186	298	-	996
		2Q.FY2018	512	188	352	-	1,052
		2Q.FY2019	805	303	777	5	1,890
		2Q.FY2018	781	305	845	3	1,934
電子		2Q.FY2019	579	44	2	26	652
	2Q.FY2018	545	29	-	29	603	
化学品		2Q.FY2019	956	95	104	4	1,158
	2Q.FY2018	976	80	81	13	1,150	
セラミックス・その他		2Q.FY2019	93	-	-	126	218
	2Q.FY2018	88	-	-	126	215	
消去		2Q.FY2019	-	-	-	▲ 160	▲ 160
	2Q.FY2018	-	-	-	▲ 172	▲ 172	
合計		2Q.FY2019	2,433	443	882	-	3,759
	2Q.FY2018	2,391	414	925	-	3,730	

2019年 通期業績の見通し

2019年 通期業績見通しの主要項目

(億円)	FY2018	FY2019 予想	増減	増減%	FY2019 2/6予想	増減
売上高	15,229	15,400	+171	+1.1%	16,000	▲600
営業利益	1,206	1,050	▲156	▲12.9%	1,250	▲200
税引前利益	1,284	980	▲304	▲23.7%	1,180	▲200
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	896	640	▲256	▲28.6%	780	▲140
一株当たり配当金 (円)	115	120				
営業利益率	7.9%	6.8%				
ROE	7.7%	5.6% ^{*1}				
為替レート(期中平均)	JPY/USD	110.43	110			
	JPY/EUR	130.42	122.2 ^{*2}			
原油	\$/BBL(Dubai)	69.4	62.7 ^{*3}			
エチレン	USD/MT (CFR SEA)	1,141	838 ^{*4}			

*1 FY2019予想のROEは、2018年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

*2 FY2019下期の前提は120.0 JPY/EURです。

*3 FY2019下期の前提は60.0 \$/BBL(Dubai)です。

*4 FY2019下期の前提は800 USD/MTです。

2019年 セグメント別 売上/営業利益見通し

	FY2018	FY2019 予想	増減	増減%	FY2019 2/6予想	(億円) 増減
売上高	15,229	15,400	+ 171	+ 1.1%	16,000	▲ 600
ガラス	7,575	7,500	▲ 75	▲ 1.0%	7,800	▲ 300
電子	2,526	2,800	+ 274	+ 10.8%	2,900	▲ 100
化学品	4,844	4,900	+ 56	+ 1.2%	5,100	▲ 200
セラミックス・その他	790	850	+ 60		800	+ 50
営業利益	1,206	1,050	▲ 156	▲ 12.9%	1,250	▲ 200
ガラス	225	145	▲ 80	▲ 35.6%	250	▲ 105
電子	240	230	▲ 10	▲ 4.2%	230	-
化学品	711	650	▲ 61	▲ 8.6%	750	▲ 100
セラミックス・その他	28	25	▲ 3		20	+ 5

*全社計には、消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しません。

【ガラスセグメント】

〔売上高〕 減収

建築用ガラス

- 日本、欧州で前期に行った値上げがフルに寄与
- ブラジル新窯が稼働を開始し業績に寄与

自動車用ガラス

- 日本を除く地域で出荷数量が減少

〔営業利益〕 減益

建築用ガラス

- 堅調な販売や販売価格が改善するも、アジアでの新設備稼働に伴う費用増などにより相殺

自動車用ガラス

- 日本における生産効率悪化や素板生産設備の修繕の影響を受け、製造原価が上昇

【電子セグメント】

*車載ディスプレイ用カバーガラス事業はガラスセグメントに移管

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板のG11対応設備が立ち上がり市場成長以上に出荷数量が増加
- 液晶用ガラス基板は価格下落幅は前年よりさらに縮小する見込み
- ディスプレイ用特殊ガラスはDragontrail®の出荷数量が増加

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに出荷増
- パーク・エレクトロケミカル社 エレクトロニクス事業、Taconic社のADD部門などの連結が始まり業績寄与

〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板は出荷数量が増加するものの、G11対応設備の償却費が増加
- 液晶用ガラス基板の価格はマイルドに下落
- 電子部材は半導体関連製品を中心に業績拡大

【化学品セグメント】

〔売上高〕 減収

クロールアルカリ・ウレタン

- 東南アジアにおける苛性ソーダ販売価格が下落

フッ素・スペシャリティ

- 半導体関連製品などの需要減

ライフサイエンス

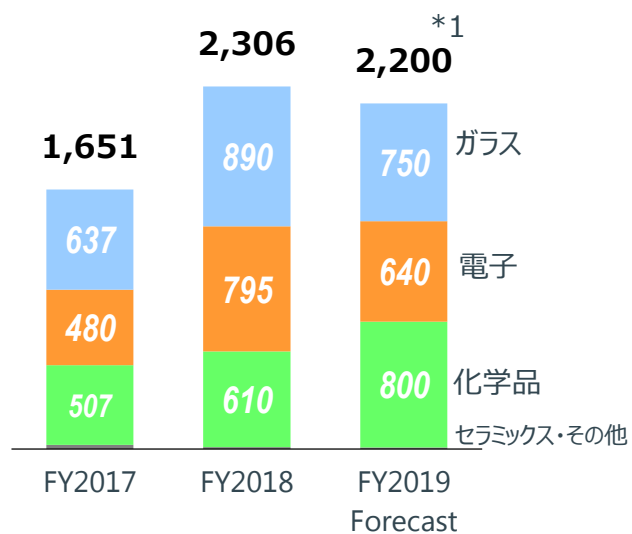
- 合成医農薬・バイオサイエンスともに、前期までの積極投資が奏功し売上高が増加

〔営業利益〕 減益

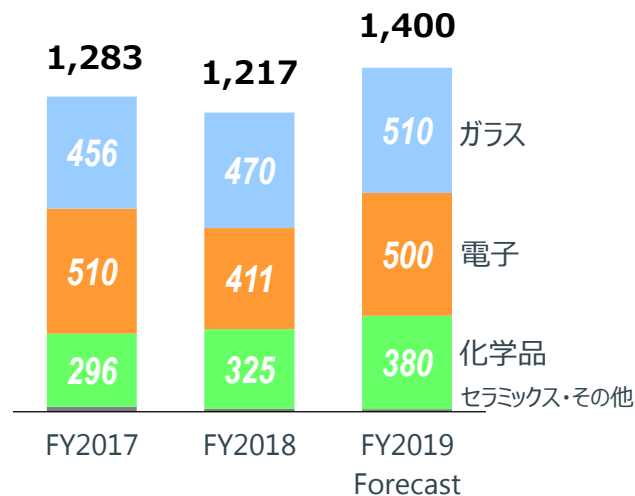
- 東南アジアにおいて苛性ソーダ販売価格が下落したものの、クロアリ製品の価格スプレッド改善
- 日本における電力コストなどの原燃材料価格が上昇
- ライフサイエンスは順調に業績を伸長

(億円)

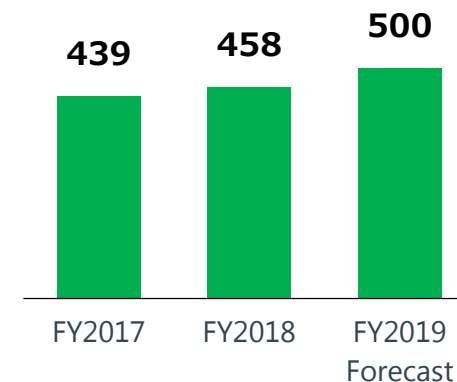
設備投資 (M&A除く)



減価償却費



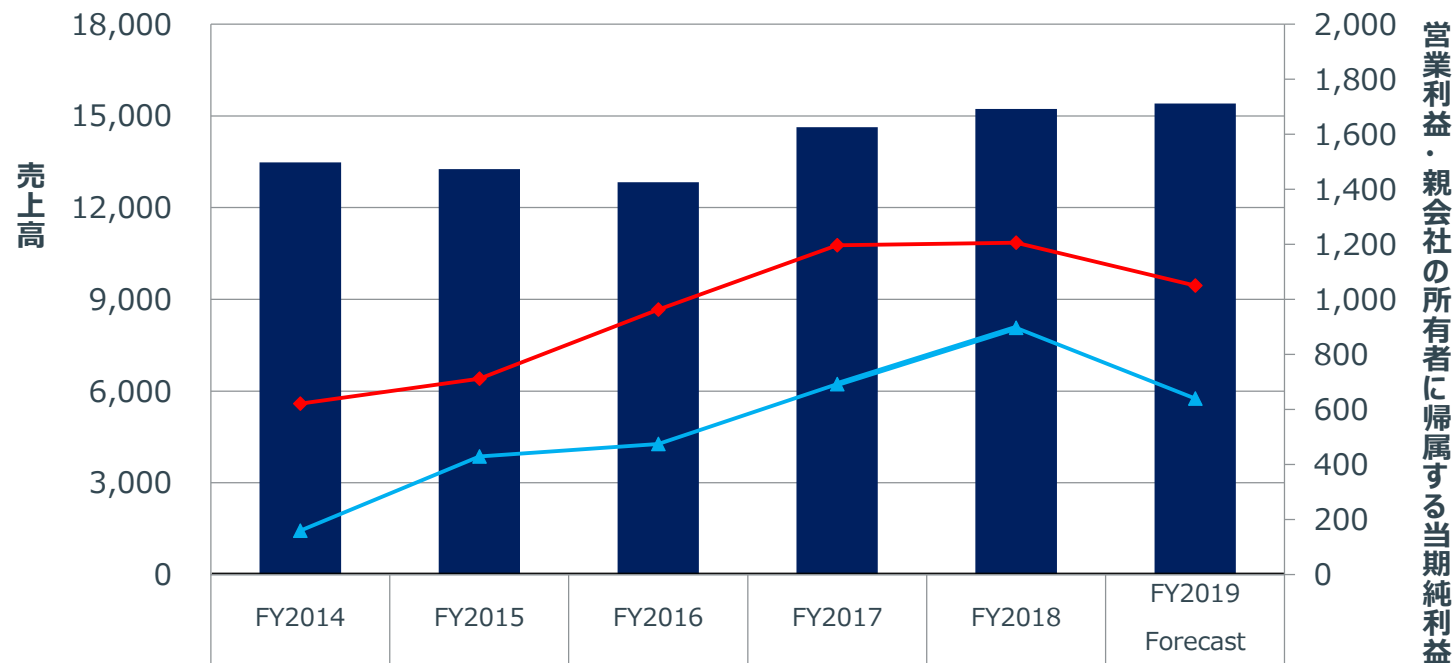
研究開発費



*1 FY2019 2/6予想金額 2,300億円より変更 (電子の予想金額を740億円から640億円に変更)

付属資料

(億円)



	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019 Forecast
■ 売上高	13,483	13,263	12,826	14,635	15,229	15,400
◆ 営業利益	621	712	963	1,196	1,206	1,050
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	159	429	474	692	896	640
営業利益率	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	7.9%	6.8%
一株当たり配当金	¥90	¥90	¥90	¥105	¥115	¥120

*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS				
		14/12	15/12	16/12	17/12	18/12
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%	7.7%
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%	5.4%
自己資本比率	%	54%	55%	55%	53%	51%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.42	0.40	0.37	0.38	0.43
営業CF/有利子負債	倍	0.27	0.40	0.47	0.42	0.35
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	68.85	185.60	205.14	302.12	399.51
EBITDA *4	億円	1,859	2,284	1,958	2,499	2,594

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2018					FY2019		
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	1 Q	2 Q	
円/ドル	期中平均	108.30	109.07	111.46	112.90	110.43	110.20	109.90	110.0*
	期末	106.24	110.54	113.57	111.00	111.00	110.99	107.79	
円/ユーロ	期中平均	133.22	130.06	129.63	128.78	130.42	125.15	123.49	120.0*
	期末	130.52	127.91	132.14	127.00	127.00	124.56	122.49	

* FY2019下期の前提

発表日	内容
1月31日	AR/MRガラス向けガラス基板を販売開始
2月6日	剰余金の配当（増配）に関するお知らせ
2月19日	米国Taconic社のADD部門グローバルオペレーションを買収
3月4日	スペイン合成医薬品原薬製造会社Malgrat Pharma Chemicals社の買収を完了
3月18日	自動車用ガラスアンテナの開発体制をグローバル3極で構築
4月2日	株式の売出しに関するお知らせ
5月9日	高精細・大画面ディスプレイ向け大型ガラス基板「AN Rezosta™」を開発
5月20日	ミリ波向け超低伝送損失フレキシブルアンテナ設計技術を開発
5月24日	「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同を決定
5月29日	世界初、28GHz帯に対応する5G端末向けのガラスアンテナで通信に成功
5月31日	「AGC 統合レポート2019」を公開
6月12日	米国Taconic社のADD部門グローバルオペレーション買収を完了

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC

Your Dreams, Our Challenge

END